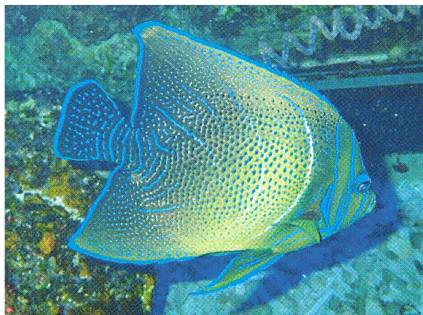




(右上から時計回りに) しぶい色合いに青い水玉模様のサザナミヤッコの成魚▷青と黒と白のしま模様のサザナミヤッコの幼魚▷しま模様が薄くなり、成魚に近づいたサザナミヤッコ

サザナミヤッコ

学名 *Pomacanthus semicirculatus*

- 分類 スズキ目キンチャクダイ科
- 分布 中国、インド、マーシャル諸島。国内では茨城県以南の太平洋沿岸、小笠原諸島、琉球列島。
- 特徴 成長すると40センチほどになる大型種。サンゴ礁に生息し、広い縄張りに、一夫多妻のハーレムを形成していると考えられているが、初夏の繁殖期以外はたいいてい1匹で泳いでいる。蛍光ブルーがとても美しく、幼魚と成魚どちらもダイバーにとって憧れの魚。観賞魚としても人気がある。

幼魚と成魚で模様が違う

サンゴ礁には、幼魚と成魚で全く模様の違う魚がいます。サザナミヤッコは成魚は水玉模様ですが、幼魚は白と紺水色のしま模様です。並べると別の種類のようです。

幼魚のしま模様をさざ波に見立てて名付けられました。すむ場所や性格も違います。幼魚は浅瀬ですばしこく泳ぎ、すぐに壁に体をつけるようにして隠れます。成魚

は少し深場の潮通しの良い場所、1匹で悠々と泳いでいます。時折岩肌をつつきながら縄張りを巡回し、別のサザナミヤッコが侵入してはいないか確認しているのです。幼魚の模様が違うのは、成魚の縄張りに入っても追い出されないようにするためと考えられています。

おもしろ生き物図鑑

かごしま水族館から

模様の違いの重要性を実感することがあります。成魚と、幼魚の模様がまだ残る2匹が水槽で同居しています。3年半くらい、お互い干渉せずに過ごしていました。が小さな方の「さざ波」模様が消えなかったある日、大きい方に縄張りの侵入者として認識されてしまったのです。大きい方は小さい方を猛追し、口で水面や壁ぎわに追い詰め、たった1日で傷だらけにしてしまいました。慌てて別の水槽に分けて事なきを得たのですが、執拗なまでに追い掛け回す成魚を見て、幼魚が別の模様をしている理由がよく分かりました。

サンゴ礁を泳ぐ色とりどりの魚たちの模様には、生き抜くための知恵が隠されているのです。(展示課魚類展示係・柏木由香利)